



区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

来年度予算要望・緊急要望

成澤区長に提出

10月25日、区長に対し、08年度予算編成に関する要望書を提出しました。同時に、学校将来ビジョンの白紙撤回や後期高齢者医療制度の中止など重点要望も緊急に対応するよう求めました。区長は「人口増のなか子育て支援などにとりくみたい」と述べました。

これは、建設、商店、観光など46を超える各種団体の方々と懇談し、そこで出された区政への要望を予算編成に積極的に具体化するよう求めたものです。



上：要望書を提出
中・下：懇談会で
要望をきく



区民の声が区政を動かす 小・中学校将来ビジョン(素案)が凍結に!

9月に開かれた教育委員会で、「将来ビジョン(素案)」の年次計画が「凍結」されました。これを受けて教育委員会は、「将来ビジョン策定協議会」を発足させ、「十分時間をかけて」論議をしていくとしています。昨年6月に素案が発表されて以降、小中学校のPTAや近隣町会も意見書や要望書を提出し、「見直し」「反対」の声が上がり、大きな運動に広がった結果です。

強引な統廃合は撤回を

区は、区議会第三回定例会の審議の中では、“なぜ「凍結」

することになったのか”“今後どのように見直していくのか”など具体的な考えを示していません。多くの区民の意見は、「素案」は認められないというものです。何が問題で、何を直すのかを明らかにし、いったん「素案」は撤回し、そのうえで検討すべきです。

区民の声いかし検討を

日本共産党は、まず白紙撤回し、「先に統廃合ありき」でなく、区立小・中学校の役割や30人学級を視野に入れて検討すること、五中・七中の統合計画も凍結・

見直しすることを提案しました。さらに、教育の質や子どもの安全、地域コミュニティや防災拠点の角度からも時間をかけた検討が必要ではないでしょうか。「協議会」は10月24日からスタートしました。

75歳以上の高齢者医療 国保より高い保険料 中止を

来年4月から、75歳以上の高齢者を対象に後期高齢者医療制度が始まります。高額な保険料(現在の案では平均年額11万5千円)を年金から天引きし、未納者からは保険証を取り上げる、保険適用の医療も制限し差別するなどひどい内容です。日本共産党は、実施を中止・撤回するよう求めています。

《第三回定例会決算委員会》

基金は介護・福祉・子育てに 06年度決算は認定できません

06年度一般・国保・介護・老人保健会計決算が審議されました。寿会館の全廃など「行革」推進の一方で、茗荷谷駅前など大規模再開発に多額の税金投入には反対です。目白運動場の取得や中学三年生までの医療費無料化は評価します。300億円の基金は介護、子育て、福祉の充実など

に使うべきです。区民税の独自軽減策、廃プラスチックの資源回収、福祉センターの早期建替え、コミュニティバスの路線増を求めました。小中学校将来ビジョン(素案)は撤回し見直すこと、国保料の値上げと保険証とりあげは止めるよう指摘し、4会計決算に反対しました。

都市計画審議会

異例の差し戻し—元町公園廃止案 どこに建てる?? 総合体育館

昨年7月、「元町公園を廃止する」計画が、区の都市計画審議会にかけられました。全国でも異例の4回継続審議で、とうとう今年8月「元町公園の歴史性、文化性について、さらに検討すべき課題が残っている。」と全員一致で区に差し戻すことが決められました。

戸沼会長は、「この都市計画審議会の場での判断は歴史的なものとなる。大局的にみてとても重要なものである。」と発言しています。3700m²の震災復興公園

は貴重だと、区民、区景観審議会・文化財保護審議会、造園学会などが動いた結果です。

今後は、総合体育館の建設地を①旧元町小・元町公園エリア ②湯島の現在地 ③旧四中跡地のいずれにするか、20名の「協議会」で検討し、来年3月までに結論を得るとしています。

日本共産党は、公園を文化財として残し、旧元町小を文学館や障害者・高齢者等区民施設として活用を提案しています。

区立の介護施設が民間に 「くすのきの郷」はフロンティア豊島が運営

文京区が特養ホーム「くすのきの郷」での不正請求問題による処分を受け、くすのきの郷は12月から民間経営になります。新たな事業者は、家族会代表も入った選定委員会で「フロンティア豊島」に決まりました。フロンティア豊島は、介護・障害者事業など15施設50事業を展開しています。くすのきの郷の利用者に支障がないよう現在の職員を継続雇用し、サービスが継承

できるように要望しています。また、区は連座制の適用で来年4月からは、他の区立特養ホームと在宅サービスセンターの運営ができません。第三回定例会に特養老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター条例の改廃が提案され、賛成多数で可決。日本共産党は廃止を急がず、まず東京都に処分見直しを求めるなど区民の財産を守る努力をすべきであると反対をしました。

みんなの春夏秋冬



ポチは知っている
—社会保障財源のありか—

倉田 新

第3回定例会 代表質問しました



代表質問をする
いたくら美千代議員

- ・福祉センター建替え、再開発の見直し、観光行政など来年度予算編成について
- ・住民税負担増の軽減策を
- ・区は介護の公的責任果たせ
- ・学校統廃合計画は5・7中の統合を含め見直しを

- ・負担と差別をもちこむ「後期高齢者医療制度」中止を
- ・耐震改修促進、避難所の整備など防災計画の補強を
- ・元町公園は保存し、体育館は現在地か旧四中跡地に



一般質問をする
高畑ひさ子議員

(全文は区議団ホームページをご覧ください)